

I 調査の概要

1 調査の目的

「第6次千代田区ジェンダー平等推進行動計画」の計画年度が、令和8（2026）年度で終了することに伴い、区民のジェンダー平等や男女共同参画についての考え方及び、区内事業所における育児・介護休業や女性の活躍推進に向けた取組状況等を把握し、第7次計画の策定に向けた基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施した。

2 調査対象

区民向け調査※₁：満18歳以上（平成19（2007）年4月1日生まれ以前）の区民

青少年向け調査※₁：満13歳～17歳（平成19（2007）年4月2日から平成24（2012）年4月1日生まれ）の区民

事業所向け調査※₂：区内に単独事業所または本所・本社・本店がある従業員1名以上の企業

※1 令和7（2025）年6月1日現在の住民基本台帳から、区民の性別、年齢構成比に応じて無作為抽出。

※2 令和7（2025）年6月1日現在の株式会社帝国データバンクから無作為抽出。

3 調査期間

令和7（2025）年8月1日～8月25日

4 調査方法

郵送配布・郵送回収（インターネット回答を併用）

5 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
区民向け調査	1,500件	385件	25.7%
青少年向け調査	1,500件	335件	22.3%
事業所向け調査	1,100件	197件	17.9%

6 実施機関

株式会社 名豊

7 比較する調査

千代田区における変化や国・東京都の状況と比較するため、以下の調査との比較を行っている設問がある。質問や選択肢が一致ないしほぼ同様である場合、違いについて言及している。

【千代田区の調査】

千代田区男女共同参画についての意識・実態調査（以下、「令和2年度調査」）	
調査対象	①区民向け調査：満18歳以上の区民 1,500人 ②青少年向け調査：満13歳～17歳の区民 1,000人 ③事業所向け調査：区内に事業所のある従業員5人以上の企業 1,000件
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和2（2020）年8月26日～9月16日
有効回収数（率）	①31.9%（479件） ②35.1%（351件） ③20.9%（209件）

【東京都の調査】

男女平等参画に関する世論調査（以下、「東京都調査」）	
調査対象	東京都全域に住む満18歳以上の男女個人 4,000人
調査方法	郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用
調査時期	令和2（2020）年11月13日～12月13日
有効回収数（率）	49.8%（1,990件）

【内閣府の調査】

男女共同参画に関する世論調査（以下、「国調査」）	
調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者 5,000人
調査方法	郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用
調査時期	令和6（2024）年9月26日～11月3日
有効回収数（率）	53.5%（2,673件）

8 報告書における図表の見方

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としている。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えている。

9 標本誤差

標本誤差は、比率算出の基数、回答の比率によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。

標本誤差“ δ ”は次の式で算定される。

$$\delta = \kappa \sqrt{\frac{M-N}{M-1} \times \frac{p(1-p)}{N}}$$

記号の説明

記号	項目	内容
δ	標本誤差	上記による
M	母集団 (令和7(2025)年6月1日現在)	①18歳以上の人口数：54,707人(男性：27,200人、女性：27,507人) ②13～17歳の人口数：2,688人(男性：1,354人、女性：1,334人) ③区内に単独事業所または本所・本社・本店がある従業員1名以上の企業：社
N	サンプル数	有効回答数
κ	信頼度による定数	信頼度95%の時、1.96
p	結果の比率	50%の時が最も大きな値となる

標本誤差算定結果

①区民向け調査 (M=54,707 / 27,200 (男性) / 27,507 (女性))

結果の比率 p : (1-p)	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
全体 (N=385)	±4.98%	±4.88%	±4.56%	±3.98%	±2.99%
男性 (N=165)	±7.61%	±7.45%	±6.97%	±6.09%	±4.56%
女性 (N=207)	±6.79%	±6.65%	±6.22%	±5.43%	±4.07%

②青少年向け調査 (M=2,688 / 1,354 (男性) / 1,334 (女性))

結果の比率 p : (1-p)	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
全体 (N=335)	±5.01%	±4.91%	±4.59%	±4.01%	±3.01%
男性 (N=150)	±7.55%	±7.40%	±6.92%	±6.04%	±4.53%
女性 (N=175)	±6.91%	±6.77%	±6.33%	±5.53%	±4.14%

③事業所向け調査 (M=)

結果の比率 p : (1-p)	50% : 50%	40% : 60%	30% : 70%	20% : 80%	10% : 90%
N=197	±6.94%	±6.80%	±6.36%	±5.55%	±4.16%

※統計学的には、標本誤差が5%以下であれば精度の高い調査結果であるとされている。標本誤差が5%ということは、調査結果が母集団の真値に対し、ある信頼度(今回の信頼度は95%とした)で±5%の範囲にあるということになる。